

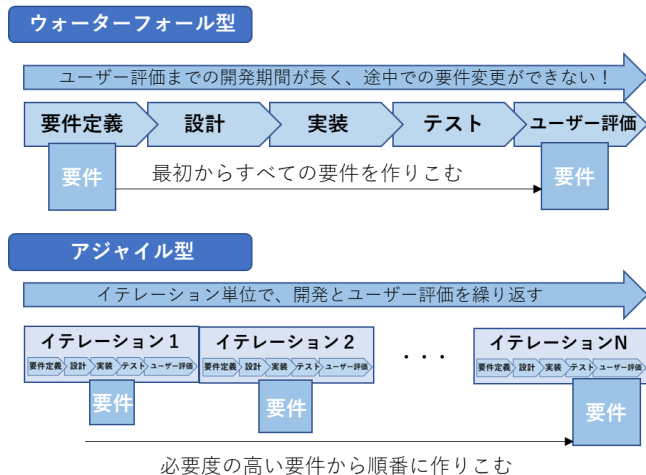
ソフトウェアのアジャイル開発、LSI設計手法

関連キーワード: ソフトウェア開発、ウォーターフォール、アジャイル、LSI設計

研究内容

□ソフトウェアのアジャイル開発

ソフトウェアの開発手法の中で代表的な2つはウォーターフォール開発とアジャイル開発である。アジャイル開発は2000年代に入ってから提唱された新しい開発手法であり、利用者にとって満足できる動くソフトウェアを作ること重視する開発手法である。このアジャイル開発を実際のソフトウェア開発に適用しながら、その有効性を検証している。



□LSI設計手法

LSI設計は身近に経験することがなかなかできないため、論理の設計から製造までの流れを理解することは一般的には難しい。プロセスを含む複数のLSI設計を支援するシステムを研究している。

研究者プロフィール

- ・情報学部データサイエンス学科 教授 伊藤則之
- ・専門分野: 情報工学
- ・研究分野: ソフトウェア開発、LSI開発
- ・所属学会: 情報処理学会、電子情報通信学会
- ・主な経歴:
1982年～2010年まで富士通において、
大型コンピュータ設計システムを担当



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

□地域・産学官連携の可能性

地域でソフトウェア開発を行っている中小の企業と連携して、現状でのソフトウェア開発の手法を分析して、アジャイル開発の導入などを支援して行く。LSI設計については、論理設計の部分は地域の企業が様々なノウハウを持っていると思われるので、論理設計のあとLSI製造までどのようなプロセスを経てLSIが出来上がるのかについての教育を支援する。

□事業家のイメージ

アジャイル開発導入のためのコンサルタント、LSI設計の教材作成など

研究者への連絡先

個人: noriyuki_ito@mail.tohoku-gakuin.ac.jp, 022-354-8602

大学: srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp, 022-354-8122